

診療記録開示を考える

## 看護記録の講演会開催

十月三日、かずさアカデミアパークにおいて聖路加看護大学教授、岩井郁子先生をお招きして講演会が行われた。この講演会は看護部の記録委員会が主催したもので、テーマは「診療情報の提供とその一環としての診療記録開示と看護記録」



診療記録開示と看護記録の講演会

診療情報の開示が行われる背景には「おまかせ医療」から「納得のいく医療（インフォームド・コンセント）」への考え方の変化があり、自己の受ける医療を知る権利には、治療を選択する権利としてそれを決定する患者としての自己責任も伴う。積極的な診療記

### ボランティア活動今年で五周年に

当院のボランティア一〇〇余名の登録者の中には以前より当院で活動をしていただいている方もおられ、その中の十名が今年まる五年を迎えた。病院では「ありがとう」と「これからもよろしく」の思いを込めてこれまでの活動を一冊のアルバムにまとめ記念品としてさしあげた。皆さんのあたたかい気持ちに支えられた、この活動の今後の活躍に大いに期待したい。



特別賞を受賞した当院の踊り

### 君津市民ふれあい祭り 当院 特別賞受賞

八月三日、玄々堂木更津クリニックにおいて第四回納涼祭が開催された。今年は患者さんのご好意で、カラオケ移動ステージをお借りでき、約四〇〇人の参加者のもと盛大な納涼祭となった。

### 本更津クリニック 納涼祭盛大に開催

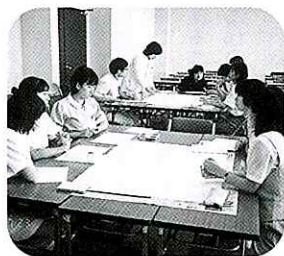
八月八日、第四回君津市民ふれあい祭りが開催された。当院からも総勢八十名の職員がいよやかに津踊りに参加した。君津駅南口の



カラオケステージも設置しての納涼祭

### 安全対策講演会 職員一七四名が参加

十月四日、ホテル千成会議室にて、当院安全対策委員会主催による講演会が職員一七四名の参加のもと行われた。今回は講師として浜名儀一介護士、高田眞行名譽院長を招き、それぞれ「医療事故の医師、医療従事者、病院の責任」「医療と安全」と題して講演が行われた。今後の当院の医療事故防止や安全対策を行っていく上で大変貴重で興味深い内容であり、我々医療従事者や病院の責任、医療の安全性についての認識の必要性が改めて感じさせられる場となった。(次回安全対策についての特集予定)



職種を越えて共に成長する今年新人たち

### 今年度の接遇セミナーすでに二回開催

ホスピタルマナー委員会主催のセミナーが、開催された。講師に岩下宣子先生をお招きして、七月八日第一回セミナー「人間関係を百倍良くするマナー」、九月九日第二回セミナー「ハートに届く手紙のマナー」と題して行われた。(二面に関連記事掲載)

### 荻野良郎先生 当院内科部長に着任

八月一日付で、荻野良郎先生が着任された。荻野先生はこれまで当院の糖尿病・甲状腺専門外来を担当されてきたが、このたび帝京大学市原病院より当院に、内科部長としての着任となった。今後とも今までの専門外来診療に加え、一般外来診療ならびに病棟診療も担当される。

### 新人三ヶ月後 フォロー研修行われる

七月二十三日、君津勤労者福祉センターにて新人オリエンテーション三ヶ月後フォロー研修が行わ



レントゲン室でCTの体験をする周西中学校生

### 大規模地震災害を想定 防災訓練行われる

九月一日、大規模地震災害を想定した防災訓練が行われた。大規模地震警戒宣言の発令とともに、院内広報で入院患者さんの安全確保、救急患者さんの受け入れ準備まで本番さながらの訓練であった。また地震による火災発生を想定、火災報知器を作動させ消防署



本番さながらの訓練

### 十年勤続者 ハワイ旅行を楽しむ

当院の十年勤続者は、九月六日～十一日、十年勤続表彰としてハワイ旅行へ出発した。今年は計十八名が参加し、観光やショッピングなど思う存分満喫したひとときを過ごした。(旅行紀四面に掲載)

### コンピュータ二〇〇〇年問題



電算室長 大澤 廉也

まず、コンピュータの二〇〇〇年問題、というといかにもコンピュータの話であって「私には関係がない」と思われるのでしたら大間違い・・・ということをお知らせしたいと思います。今やあらゆる機器に「マイコン」という超小

型コンピュータが組み込まれており、エレベーターや空調機など身近なものや病院の医療機器などに搭載されています。医療機器においては患者さんに対して各種機器を使用しており、機器の使用者である職員には二〇〇〇年問題に関する安全性確認(この場合、メーカーへの確認ということではなく、患者さんへの実際の使用時の確認)がもとめられています。

当院電算室としては医療機器の取扱いは不案内ながら各部署の協力を得て本年三月から、「機器の一覧化」と「メーカーへの安全性問合せ」を中心に作業してまいりました。作業途中ではありますが、幸い現在までに重大な問題のある機器は発見されていません。しかし、政府や厚生省は医療機関が保有する各種機器の個々の安全性のみならず、さらに二〇〇〇年問題により電気・ガス・水道といったライフライン停止による混乱まで想定した危機管理対策を講じるよう求めています。例えば、来年一月一日に電気の供給がストップした場合、当院の通常の人員配



# 緩和ケア研究会より

緩和ケアとは「がん医療のあらゆる過程に適用される積極的な、全人的な、QOL(生命の質)を重視した、患者と家族に対するケア」と言われています。緩和ケア研究会は、人生の終末期を迎えたとき、できるだけ不要な苦痛を少なくし、より安らかに家族と共にその時を迎えられるような医療を考えるために、昨年八月に発足しました。月一回の研究会には、医

師、看護婦の他にケースワーカーや薬剤師、栄養士など様々な職種の方が自主的に参加する他、院外からの参加者もあり毎回活発な意見交換が行われています。

今年度のテーマは「痛み」です。がんの痛みとは「身体痛み」だけでなく「精神的痛み」「社会的痛み」も含まれます。「痛みからの解放」はがん医療、特に緩和ケアにおいてはその人らしさを取り

戻し、QOLを高めるためには大変重要なテーマです。

近年「身体痛み」の治療は、モルヒネの使用により驚くほど軽減できるようになりました(「モルヒネ」については、研究会の加藤病棟医長より解説していただきます)。そして「心の痛み」や「社会的痛み」にも私たちは今後とも積極的に取り組み、人間らしさ、その人らしさを尊重した医療活動を行っていきたくと考えています。

研究会にはいつでも誰でも参加OKです。お待ちしています。

## 癌の痛みは怖くない

病棟医長 加藤正久

医療の発展は目覚ましいものがありますが、依然として癌による死亡が死因の第一位を占めており、「癌=死の病」という概念が払拭されません。わが国で癌の告知が進まない理由はこのへんにあると考えられます。

最近インフォームド・コンセントという言葉が、はやりのように使われますが、この言葉自体の意味は、我々が行う医療行為の説明をして、同意を得るといことです。癌の告知もそのひとつですが、それは、「あなたに癌だからもう助かりません」ということではなく、癌という病気に対する正しい知識と、適切な治療を継続して受けるために必要な説明をし、かつ同意をしていただくことです。

現在、早期の癌では、九〇%以上が治りますし、進行した癌でも、治療によって五〇%以上の治癒が期待できます。このような考え方に基づいて、我々の病

院では積極的に癌の告知を行っています。

では、実際に「癌」と告知された患者さんにとって何が怖いかと聞いてみると、患者さんにとって何よりも怖いのは、癌末期の「痛み」や「苦痛」です。昔から、癌の患者は耐えがたい激しい痛みで死んでいくという印象があります。今は痛みもなく、穏やかに死んでいくことが常識となりました。これは痛みや苦痛に対する適切な治療がなされるようになったからです。

「癌の痛み」に最も有効な薬剤はモルヒネですが、患者さんはモルヒネというと、悪いイメージがあるようです。モルヒネは麻薬です。麻薬中毒、副作用が強い、モルヒネを使いはじめたらすぐ死んでしまう、等のイメージをもたれる方が大勢います。しかし実際には、癌の痛みにもっとも有効で、適切な使用方法であれば安全に使用できる薬剤です。WHO(世界

保健機構)でも癌の痛みに対してモルヒネを積極的に使用するように、ガイドラインが作成されています。

現在、モルヒネには、粉末、水薬、錠剤、注射薬、坐薬、と五種類あり、患者さんの状態によって使い分けをしています。モルヒネの投与量に関しては、痛みの感じ方がそれぞれ違うように、投与量も患者さんの痛みの程度によって異なります。通常はモルヒネを一〇〜二〇mgから開始しますが、人によっては一、〇〇〇〜二、〇〇〇mg(通常の一〇〇倍量)を投与することもあります。このように大量投与が必要な患者さんでも、痛みがなく、普通の生活をしながら、家で過ごすことができます。

一番心配されるモルヒネの副作用ですが、一般的なものとして、眠気、便秘、吐き気があります。これらの副作用は投与開始直後がもっとも多く認められます。程度が軽い場合は投与後二〜三日で薬に慣れてきて消失しますが、持続する場合は副作用に応じた予防薬を併用することによりほとんど解消されますので、自分の判断で中止しないことが大切です。もうひとつモルヒネを投与されている場合に大切なことは、決められた投与量を、決められた時間に定期的に飲むことです。これはモルヒネの血中濃度に関係しています。すなわち、投与初期にはモルヒネが体に十分行き渡っていないため、痛みはそれほど軽くなりませんが、二日ぐらいいつづけていくと徐々に血中濃度が上昇して効果が出てきます。普通の痛み止め(頭痛薬など)に比べて、即効性はありませんが、効果がでるまでどんどん増量することができます。従って、鎮痛に有効な血中濃度をいかにうまく維持するかがモルヒネ投与の最大の秘訣です。

このようにモルヒネは、慣れた医師が適切に使用すれば安全で有効な薬剤です。癌の痛みは決して怖くありませんので、身近に「癌の痛み」で困っている患者さんがいましたら一度ご相談下さい。必ず痛みは消失するはずですよ。

消されず、自分の判断で中止しないことが大切です。もうひとつモルヒネを投与されている場合に大切なことは、決められた投与量を、決められた時間に定期的に飲むことです。これはモルヒネの血中濃度に関係しています。すなわち、投与初期にはモルヒネが体に十分行き渡っていないため、痛みはそれほど軽くなりませんが、二日ぐらいいつづけていくと徐々に血中濃度が上昇して効果が出てきます。普通の痛み止め(頭痛薬など)に比べて、即効性はありませんが、効果がでるまでどんどん増量することができます。従って、鎮痛に有効な血中濃度をいかにうまく維持するかがモルヒネ投与の最大の秘訣です。

## 緩和ケア研究会 平成11年度活動計画

学習テーマ「疼痛コントロール」

月	活動内容
4月	・講演会 「がん告知を考える」
5月	・がん疼痛の原因・診断 ・いたみ治療の目標設定 ・痛みのアセスメント
6月	・公民館活動 本田先生講演会 君津中央公民館
7月	・鎮痛薬使用の基本原則 ・非ステロイド(NSAIDs) ・リンコデ、レパタン
9月	・モルヒネの経口投与について
10月	・最新のがんの治療技術と看護
11月	・モルヒネの非経口投与について ・患者主体の症状マネジメント
12月	・トピックス ・がん患者の社会復帰への看護 ・モルヒネの考慮すべき問題点
1月	・アセスメント表の評価 ・一般病棟での終末期のがん患者への看護
2月	・鎮痛補助薬について
3月	・年間の活動経過のまとめ ・マニュアル再校正・完成

### 第一回マナー教室

平成十一年度第一回マナー教室が、八月五日に開催されました。今年度のマナー教室は、各グループで企画、運営をしていくという新しい試みがとられています。今回は、Aグループ(医事課、総務課、保育所、木更津クリニック事務)の主催による「人間関係」をテーマとする「マナー」で、講師にマナーコーディネーターの岩下宣子先生をお招きして行われました。

### 第二回マナー教室

第一回に引き続き、九月九日に第二回マナー教室が開催されました。今回はBグループ(外来・透析室・手術・MSW・訪問)の主催による「ハートに届く手紙のマナー」で同じく岩下宣子先生を講師にお招きして行われました。

### ホスピタルマナー委員会報告

マナー教室の内容は、情報伝達をする際のポイント(電話での伝達を中心)、職場でのコミュニケーション、心の言葉と伝達の言葉の違い、表情の作り方等、実際にあったトラブル事例を委員が演じたり、参加者全員での実践を交えながらわかりやすく、面白く講演して頂き、充実した時間を過ごすことができました。

### 「移動図書」その後...

七月十九日より図書貸出しサービスが始まりました。毎週火曜の午後、総務課手製の図書カートに本を載せ各病棟をまわって貸出しサービスを行っています。すべての本にビニールカバーを、図書カードを入れ、見た目はまさに「図書館の本」です。患者さんはカートに載っている本を直接見て借りる本を決めます。本は一部しかカートに載らないので「図書リスト」をお渡しして選んでもらうこともあります。これに対しボランティアさんが図書カードを本から抜き、借りる人の名前などを記入し、かわりに返却日を記入した黄色い紙をはさんで患者さんに貸し出します。ボランティアさんは次の週に貸し出しサービスをするので、同時に回収の作業も行っています。

職員からの古本の回収だけでなく、このサービスを受けた患者さんからの図書の寄付もあり現在登録冊数は三百冊を越えました。エッセイ、小説、旅行雑誌、漫画など種類も豊富にそろって来ています。毎週楽しみに待っていて下さる患者さんも増えてきました。本を通して患者さんとボランティアさんの触れ合いもあるようです。ボランティアさんの笑顔が少しでも、患者さんたちの入院生活を潤すことができればと考えています。



医療相談室

## 新任医師紹介

内科部長 荻野良郎先生



生年月日

S 31年12月10日

出身地

福島県須賀川市

趣味・特技

野菜栽培

仕事のモットー

慎重・冷静

今年八月から内科医として主に外来を担当することになりました。平成四年秋から糖尿病・甲状腺外来を土曜日に担当させていただきましたが、まだ慣れない点もあり宜しく御指導お願い致します。

さて、当面の課題として、①糖尿病外来でのヘモグロビンA1cの迅速測定を導入し、最近のコントロール状態を当日患者さんに伝えること②疾患への理解の促進とこれの手助けとなるパンフレットの作製③糖尿病教育などを通じての疑問の解消④大切な問題である外来待ち時間の短縮をスタッフの方と努力したいと考えています。将来的にはさらに充実した外来を作り上げたいと考えていますので宜しくお願いたします。



第一回マナー教室



シリーズ “病気を考える” (25)

前立腺肥大症

今回は、東京女子医科大学病棟の泌尿器科講師、山崎雄一郎先生に「前立腺肥大症」の解説をお願いしました。山崎先生は当院でも土曜日の泌尿器科外来で診察をされています。



東京女子医大 泌尿器科 講師 山崎雄一郎 先生

前立腺肥大症とは

前立腺は男性だけにある臓器で、精液の一部を産生する役割を持っています。この前立腺は男性ホルモンの依存して増殖成長しますが、加齢とともに男性ホルモンが低下するにもかかわらず前立腺肥大症や前立腺癌といった増殖性の病気をきたすユニークな特徴をもっています。前立腺は膀胱のすぐ下で尿道をとりまくように存在するため肥大することによって尿がでにくくなります。前立腺肥大症とはこのような中高年の男性の排尿障害の中心的な病態です。前立腺内に腺腫が出来て肥大が生じ始めるのは三十歳代からですが、臨床的に症状が始めるのは五十歳代以降がほとんどであり六十歳で五〇％、七十歳で七〇％、八十歳では八〇％位に前立腺肥大症が認められるといわれています。

前立腺肥大症の診断

前立腺肥大症の診断のために外来で最初に行われるのが直腸指診です。前立腺は先述述べたように膀胱の真下、直腸の前方に位置しており肛門から指を挿入すると容易に触知することが出来ます。これにより前立腺の大きさや形、こりの有無などを知ることができ泌尿器科専門医であればこの直腸指診のみで前立腺肥大症と進行前立腺癌の多くを鑑別できます。前立腺は通常はクルミ位の大きさ(二〇g)程度ですが肥大が進行すると鶏卵大、蜜柑大と大きくなります。排尿の状態を知るためには尿流量計という測定器を用いて排尿

前立腺肥大症の症状

前立腺肥大症の症状は排尿障害です。排尿障害は刺激症状と閉塞症状の二つに分けられます。刺激症状の代表的なものは頻尿、夜間排尿、尿意の亢進などがあり、泌

前立腺肥大症の治療

前立腺肥大症の治療法は大きく分けて薬物療法と外科療法に分けられます。薬物療法は男性ホルモンをおさえる抗アンドロゲン療法と前立腺尿道の収縮を抑制する交感神経遮断薬が中心となります。抗アンドロゲン療法は前立腺の縮小作用が期待できますが勃起障害などの副作用やPSA値を下げて前立腺癌の診断を妨がわしきすといった問題があります。このため最近では即効性があり自覚症状の改善効果の高い交感神経遮断薬が第一選択薬として投与される機会が増えてきました。しかし本質的治療とはいえず立ちくらみといった起立性低血圧を生じる可能性があり、外科療法としては経尿道の前立腺切除(TURP)が現在世界中で最も普及している治療法です。これは先端に切除ループをつけた内視鏡を尿道内に挿入し、ループに高周波電流を通過してかんで削るように内側から肥大した前立腺組織を切除する方法です。お腹を切るわけではなく症状の改善効果も高いため推奨されていますが、肥大が強ければ切除に時間がかかり術中の出血量が増えます。このため最近ではループ電極の形態を工夫し、切開電流を強くすることで組織を蒸散させ出血量の軽減をはかる方法も広まってきました。このほかにはマイク波で前立腺を四五℃以上に加熱して前立腺を凝固縮小させる温熱療法やレーザーを利用して組織を蒸散させる方法も普及してきてい

前立腺癌との鑑別診断

前立腺肥大症は前立腺の内部に腺腫が生じて肥大しますがこの腺腫はあくまでも良性疾患です。これに対して最近話題になることが多い前立腺癌は放置すれば骨や肺をはじめとして全身に転移する可能性があります。両疾患とも高齢男性に見られ、合併していることも多いため前立腺肥大症では癌との鑑別がポイントとなります。先ほどの直腸指診は有力な診断法ですが早期の癌は触知出来ないことが少なくありません。これに対して近年急速に広まったのが血液内の前立腺特異抗原(PSA)の測定です。どの値以上は癌であるというとは言えませんが一〇ng/ml以上では癌の可能性が高くなることは明らかであり、前立腺肥大症を疑った場合は泌尿器科医の多くがPSAの測定を行っています。

趣味の欄

今を大切に サーフインライフ 3A病棟 谷脇美聡



輝いている瞬間

サーフィン(ロングボード)を始めたのは五年前。しかし椎間板ヘルニアを患い、生活環境も変わり一度は諦めた趣味だった。二年振りになりハビリする気持ちで再び

「途中を見失った時代」の中で

三好万季著 「四人はなぜ死んだのか」を読む。

今という時代の病理は「途中の欠落」にある。

「途中を見失った時代」のただ中であって、この少女から、かくもしたたかた、目をみはるばかりに的確な「途中の歩み」を引き出したものは、果たして何なのだろうか。そして、立派な大人である医師や警察官やマスコミの人達が、貴重な情報を単なる「記号」として受けとるにとどまり、肝腎な「途中」を見失い、先を急いだ誤診にはまり込んだのは何故なのか。医療にかかわる私共は、この問いに対する答えを、この著書から学びとらねばならない。

この小さな本を読み終えてそっと巻を閉じるとき、読者はこの小さな本から、何事にも「終点」なんてものはない、いつも様々な問題をかかえながら生きる「途中」だけがあるのだという、もう一つの大きなメッセージを受けとることになるだろう。(M・T)

始めたこの頃、健康である有り難みや今後の自分について考えてしまふ。自由気ままに海へ行くようなサーフィンライフは私にはあと数年の限られた時間だろう。あと何本の波に乗れるのだろうか。そう思うと淋しくなるが、オバサンのサーファーは見た事ないし、見たくもないだろうから、いつかは自分で辞める時を決めなければならぬと思ってる。上手くはないし冬はやらない軟弱サーファーなので偉そうな事は言えないが、波に乗る時の「行くしかないでしょ」という気合い。緊張感。爽快感。そして「また頑張ろう」と単純に思える気持ち。今後これに匹敵す

る趣味には簡単には出会えないだろう。しかも金銭的負担が少ないのも魅力の一つだ。

話は変わるが今まで私は広く浅く色々な事やっていた。そんな中、趣味という型にはまらなくても、ポイントとできる時間と場所がある事が大切なのだと思いはじめた。大自然の中で生かされているちっぽけな存在だと、自分を思えば悩みやストレスから開放されるだろう。趣味から学んだ私の人生観の一つだ。今後もストレスを溜めない様、何かを見つけて生きよう。

投書箱より

1999年8月

8月5日、朝5時半頃看護婦さんが「虹が出て下さい」と言われてから看護婦さん朝やしの小が

「途中」をどうだ? あれも又、「途中」をどうだ? あれも又、

まだある。あのオウム真理教にはまったエリート達の思考と行動はどうだ? あれも又、

「途中」をどうだ? あれも又、

「途中」をどうだ? あれも又、

「途中」をどうだ? あれも又、



# 10年勤続のごほうび ハワイ旅行



家族も参加 全員で36名のツアー

ア・ロウハー  
憧れのハワイ旅行三十六名(職員十八名、無事行って来ました。大人数のハワイ六日間の旅でした。一人一言コメントを皆さんに紹介します。

☆あつという間の六日間でしたが仕事の事は忘れて、のんびりと楽しく過ごす事ができました。毎年行っている友人がいますが、私にもその気持ちがあつた様な気がします。(C.S.)  
☆成田を飛び立ち七時間の空の上は地獄。しかし地上は楽園だった。(Y.E.)

☆子供とのふれ合い一〇〇%の六日間。そのうち八〇%は兄弟げんかの仲裁で、怒鳴っていたかもしれない。三人の旅はむずかしいを実感。(K.Y.)  
☆日本で見れない大きな虹が見られました。(H.M.)  
☆ワイキキの海は青かった。(A.S.)

☆高層ホテル群、ヤシの木、タコノ木、波、ロプスター、スコール、買物天国、ニホンジン、フラ、アロハ...以上、私のハワイのイメージ。(R.O.)  
☆多回子供連れで参加しました。日本を出る時は、七つなる事かと

思ったが、皆さんのご協力もあり無事四泊六日の長旅を終える事が出来ました。子育ての中で思い出に残るページとなりました。(K.I.)  
☆一生に一度の楽しい思い出ができて良かったです。(Y.T.)  
☆楽しい思い出が増えました。お金を貯めてまた行きたいです。(M.M.)  
☆どこまでも澄みきった青い空と海、肌に照りつける熱い太陽の光、さわやかな風と心地よい木陰。行き交う人々は皆陽気で明るい。高温多湿でせかせかと気せわしい日本とは全く別世界。なんて素晴らしいんでしょう、ハワイ!!十年分リフレッシュしてまた明日から玄々堂で頑張ろうかな。有意義な機会をいただきありがとうございます。ハワイが名残おしい。(Y.O.)  
☆久しぶりに家族四人楽しい六日間でした。娘達二人はすれ違いう

に「アロハ」と愛敬を振りまき超ご機嫌!日本が一番の母より (A.I.)  
☆時差に勝てず体調を崩してしまつたが、思い出に残る旅行ができました。(Y.E.)  
☆職員旅行でなく、今度は新婚旅行で来る。(K.M.)  
☆ポリネシア文化センター良かったヨ。なぜってバイトの案内人大学生、ハッピー!いい男だ。生まれ変わつたら一緒に... (K.K.)  
☆一番印象に残つたのは、二日目のポリネシア文化センター内の散策、踊りの練習、豪華な夕食後の原住民が繰り広げるショータイムでした。(A.Y.)

☆今回の旅行はとにかくくつろぎ...という気持ちで行つて来ました。という事でワイキキビーチとお買い物のみ!!お陰様で身も心もリフレッシュしてとても充実した四泊六日を過ごさせて頂きました。(M.T.)  
☆よく買い、よく遊び、よく食べた!夢のような六日間は、あつという間でしたが、十年がんばつた自分への最高のプレゼントとなりました。

ました。また明日から二十年めざしてがんばります。(R.N.)  
☆ハワイの旅素晴らしい!ありがとう!の一言です。飛行機の苦手な私に一万三千フィート飛行中なんと血圧急上昇。成田着まで皆様に大変ご心配をおかけしました。自分の健康管理を必至と感じ反省。

地上に着いた私は、水を得た花の様に生き生きと更に仕事に邁進したいです。(筆者)  
院長先生、病院職員の皆様、私達にとり、とても素晴らしい思い出ができたことに感謝致します。アロハ!(ありがとう) 込宮啓子

## 玄々堂写真部発足

院内初の(?)文化系サークル誕生。部員随時募集中、経歴不問、モデルのみ部員、宴会のみ部員ももちろん大歓迎。末長く皆で育てていくクラブにしましょう。

十月、皆さんと外来ギャラリーにてお目にかかりましょう。乞う御期待。事務局 大崎・湯城(医局)



## 外来担当医診療予定

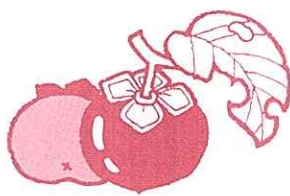
	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
午前外来	一般	茅野院長 8:30~10:00 武部副院長 荻野	永高 仲	荻野 黒田	武部副院長 中川	河村 梅谷
	予約	加藤 永高(血管外来) 位高(整形外科)	茅野院長 小幡(整形外科) 荻野(糖尿病・甲状腺外来) 清水(神経内科・月1回)	高田名誉院長 武部副院長 呼吸器科 加村(整形外科)	高田名誉院長 茅野院長 高幣(整形外科) 尾野(神経内科)	高田名誉院長 筋野(整形外科)
午後外来	一般	永高 加藤	永高 仲	湯城 黒田	大崎 中川	永高 梅谷
	予約	茅野院長 武部副院長 位高(整形外科)	大崎 小幡(整形外科)	呼吸器科 本田(循環器科)	高幣(整形外科) 荻野(糖尿病・甲状腺外来) 飛澤or佐藤(神経科・隔週午後又は夜間)	筋野(整形外科)
夜間外来	武部副院長 大崎 白鳥	永高 荻野	湯城 市場 呼吸器科(予約)	永高 中川 飛澤or佐藤(神経科・隔週午後又は夜間)	加藤 河村 荻野(19:30~)	茅野院長(1.3週) 高田名誉院長(10:30~) 野尻(1.3週) 長谷川(2.4週) 小沢・乳腺外来(1.3週、10:30~) 永高(2.4週、8:30~10:30まで) 荻野(糖尿病・甲状腺外来) 紫芝(月1回、糖尿病・甲状腺外来) 高橋 佐藤or當間or松井(アレルギー・リウマチ科) 木原or山崎(泌尿器科) 野尻(1.3週) 長谷川(2.4週) 小沢・乳腺外来(1.3週) 永高(2.4週) 荻野(糖尿病・甲状腺外来) 紫芝(月1回、糖尿病・甲状腺外来) 高橋 佐藤or當間or松井(アレルギー・リウマチ科) 高田名誉院長(1.3週 肝臓病外来・予約) 古谷(整形外科) 佐中(腎臓内科 2ヶ月に1回) 休診

※診察医師予定に関しては、変更になる場合がありますので当日確認してからご来院下さい。

## 人事往来

### 看護部

- ・外来 鳥飼 紀子(看護部長室)
  - ・三階A病棟 小森園裕子(手術室)
  - ・二階病棟 四釜 監(看護部長室)
  - ・手術室 佐藤まゆみ(看護部長室)
  - ・二階透析室 田畑小百合(坂田クリニック)
  - ・坂田クリニック 広瀬 陽子(二階透析室)
- ※(一)内は旧所属部署



## 編集後記

- ◆食欲の秋、甘い誘惑に負けてしまっそう... E.T
- ◆暑かった夏も終わり食欲の秋、スポーツの秋到来。前者は控えめにしないと後がこわい。 H.S
- ◆食欲の秋なのに胃が... H.O
- ◆運動の秋なのに頭が... M.I
- ◆もう少しで、涼しい季節になります。 M.K
- ◆最近暑さのせいだろうか、頭の回転が...でも原稿間に合って本当に良かった! K.T

## 今回のサブタイトル マコン・ヴィンテージ

料理に合わせるワインが思いつかなかつたら「マコン」。マコンはくせがなく、自己主張しないためどんな料理とも合うと言われています。だからといって、マコンのワインが平凡なワインと評価するのは間違いで、かなり上質の香りの豊かなワインです。黄金色でさわやかなリノゴに似た香り、酸味とバターのような香りが混じっています。上品な味わいがあり、酸とアルコールとのバランスが素晴らしい年を経るごとに品質が良くなるという特質を持っています。



- ◆暑い〜とだらだら過ごしていたら、もう締切。また今回も間に合わなかつた。匿名希望
- ◆夏が終わった。今年も焼けなかつた。早く来年になれ。 T.T
- ◆来年は優勝だ!ガンバレ阪神タイガース! H.M
- ◆我が巨人軍は永遠に不滅です。ご声援有り難うございました。読売巨人軍 長嶋茂雄代理? M.Y
- ◆長嶋監督統括で主人は大喜び!とところで私も統括でしょうか...? Y.M